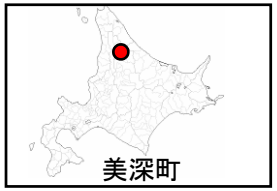
美深町地域公共交通活性化協議会 平成21年12月1日設置



概　要

美深町は、南北、東西ともに30kmを超える長い地形による広い行政面積を有しているが、過疎化に伴う鉄路や民間バス路線の廃止によって、鉄道廃止代替バス、町営バス（一般住民混乗実施のスクールバス、福祉輸送）等で、市街地と周辺の集落間の公共交通機関を確保している。人口の減少とマイカーの普及によりバス利用者数が減少し財政負担が増加しているため、効率的で利便性の高い交通形態の検討が課題となっているほか、高齢化の進行による市街地内での短距離移送の需要も高まっている。このため、鉄道廃止代替バス路線のデマンド型交通への転換や一般住民混乗実施のスクールバスでのフリー乗降車区間の創設、市街地内での短距離移送手段の確立等の調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

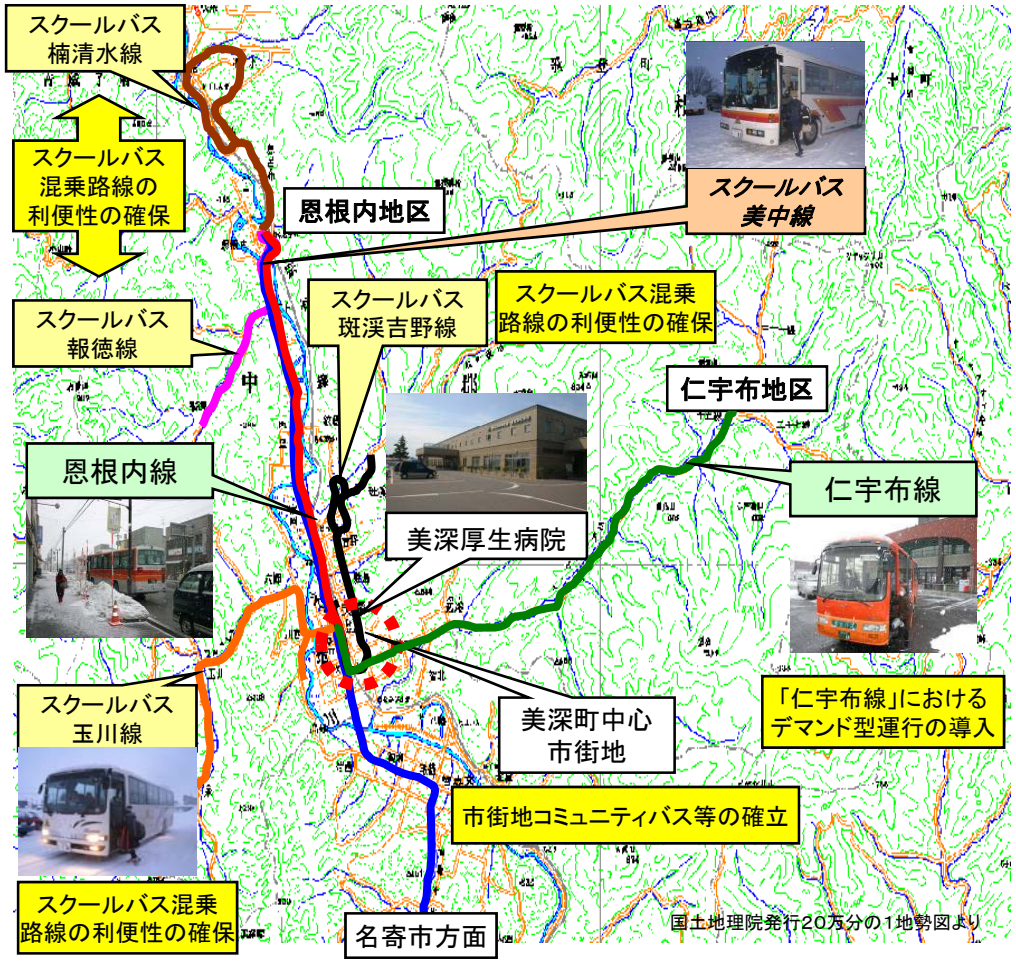
- JR宗谷本線（美深駅、南美深駅、初野駅、紋穂内駅、恩根内駅、豊清水駅）
- 名士バス（株）（恩根内線、仁宇布線）
- スクールバス（一般住民混乗3台4路線、児童生徒専用1台1路線）
- 町福祉有償運送（介護予防等外出支援事業）

○地域公共交通の課題

- 高齢者等の生活交通の確保
- 鉄道廃止代替バス（仁宇布線）及び町営バス（一般住民混乗実施のスクールバス）の利用が低調
- 既存バス路線の運行の効率化及び利便性の向上
- 高齢者の短距離移送手段の確保

○調査の主な内容

- 現況交通実態調査
- 利用者ニーズ把握調査（アンケート調査）

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想（予定）

- スクールバス混乗路線の利便性の確保
- 「仁宇布線」におけるデマンド型運行の導入
- 市街地コミュニティバス等の確立